

第8回てんのうじ眼科フォーラム

8th Tennoji Ophthalmology Forum

日本眼科専門医制度生涯教育事業 1単位（申請中）

2026年5月23日（土） 17：00～19：00

シェラトン都ホテル大阪3F 「明日香の間」

参加費 1,000円

プログラム

- 17：00 【一般講演】 座長：山本 学 先生 大阪公立大学大学院 医学研究科視覚病態学 准教授
- 17：30 「当院における甲状腺眼症の治療の変化」
東田 太一 先生 大阪公立大学大学院 医学研究科視覚病態学
- 17：30 「当院におけるアフリベルセプトの使用経験」
18：00 平山 公美子 先生 大阪公立大学大学院 医学研究科視覚病態学 講師
- 18：00 【特別講演】 座長：本田 茂 先生 大阪公立大学大学院 医学研究科視覚病態学 教授
- 19：00 「ワンランク上のICL手術を目指して」
神谷 和孝 先生 昭和大学大学院保健医療学 研究科視覚機能学 教授

本会終了後、情報交換会を予定しております。

共催：てんのうじ眼科研究会 / 参天製薬株式会社 / バイエル薬品株式会社
お問い合わせ先：kenji.haruna@santen.com（事務局）

ご挨拶

拝啓

青葉若葉の美しい季節になりました。

先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より多くの患者様をご紹介いただくとともに、

地域医療への温かいご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「第8回てんのうじ眼科フォーラム」を開催する運びとなりました。

本フォーラムは、大阪公立大学と日頃よりご紹介・ご協力を賜っている地域の先生方とをつなぐ、大変重要な情報共有・交流の場と位置付けております。

この機会をお借りし、2025年度の当院における主要な取り組みを振り返り、網膜硝子体・眼炎症・緑内障の各専門外来にて進行中の臨床研究について、中間報告を交えながら、今後どのように連携を図っていくのか、皆様と共に考える場としたいと存じます。

本会終了後には情報交換会も開催いたします。

先生方同士、診療上の工夫や課題、連携のあり方などを気兼ねなく語り合っていただける、和やかな場となりましたら幸いです。

敬具

大阪公立大学大学院医学研究科視覚病態学 本田茂



ワンランク上のICL手術を目指して

昭和医科大学大学院保健医療学研究科視覚機能学 教授

神谷 和孝 先生

有水晶体眼内レンズは、レーシック手術と比較して高い安全性・有効性だけでなく、術後視機能の優位性が注目されています。個体差の大きい角膜創傷治癒反応の影響が少ないことから、安定性や予測性も優れています。高価なレーザー装置も不要であり、白内障手術に習熟したサージャンであれば手術手技も難しくありません。このような背景から、当初の強度近視だけでなく中等度近視にまで適応が拡大しつつあります。実際に国内におけるレーシック手術需要は大幅に減退しており、後房型有水晶体眼内レンズ（Visian ICL™, STAAR Surgical社）が台頭しています。社会全体としての認知度も高まったこともあり、ICL手術が現在のマーケットを席卷している状況ですが、急速な普及の反動として手術の質が低下する可能性も否めません。

本講演では、医師主導による正しい普及に向けたこれまでの取り組みや手術に関するちょっとしたコツを紹介し、実践的なトラブルシューティングやAIを使ったレンズサイズの最適化についても言及したいと思います。